

平成25年度賃金・労働条件要求書等に対する交渉の概要（第3回）

○日 時 平成25年11月18日（月） 8：30～9：00

○場 所 県庁講堂

○出席者 県：知事部局 広瀬人事企画課長、斉藤課長補佐、中本課長補佐

教育委員会 森田教育総務課長、小椋課長補佐

企業局 亀井経営企画課長

病院局 渡邊病院局長

県職労：三浦委員長、鍋谷書記長 他

現企労：上田執行委員長 他

非常勤組合：縫谷書記長 他

県教組：前田執行委員長、寺谷書記長 他

高教組：中執行委員長、谷本書記長 他

<概 要>

**組合**：第3回交渉ということで交渉を再開させていただく。本日はこれまでの確認をさせていただいて、提案いただいている給与条例について判断させてもらいたい。

まず、職位整備の知事部局との交渉において、H17のわたり廃止以降に取り組みを行ってきたが、まだ他県等との差があり、新たな取り組みが必要であるということで良いか。

**県**：良い。

**組合**：他県の職位、職責の考え方が参考となるものだとということで、鳥取県の現状を検証することで良いか。

**県**：それもひとつの方法であると考えている。

**組合**：再来年度には新たな成果、制度が得られると考えて良いか。

**県**：制度作りありきではない。結果として、制度としての位置づけになることもあるし、現在の運用の変更で問題をクリアすることもあるかもしれない。そういうことも有りうるということで、検討し協議を行いたい。

**組合**：今々できることは、やりとりさせていただくということで良いか。

**県**：はい。

職場要求について、組合に意見を返し、さらに組合から返しがあれば、検討するということもやっていきたい。

**組合**：病院局、企業局もそれで良いか。

**県**：（病院局）良い。

**県**：（企業局）良い。

**組合**：教育委員会については、職位整備について、他県の状況もひとつの道しるべと考えるということで良いか。

**県**：（教育委員会）良い。

**組合**：単独の交渉では、7つの職について話があり、2013年度末にも職位を拡充するということが良いか。

**県**：（教育委員会）司書の関係についてもご意見をいただいたので、前向きに取り組んでいきたい。

**組合**：学校現場の職責に基づいて、格付けをしていくということ。

実習教員、寄宿舎指導員、学校栄養職員、学校事務、学校技能、自動車整備士、介助職員について年度末の向けて職位の拡大解決に向けて取り組むということでよろしいか。

**県**：（教育委員会）良い。

**組合**：続いて、給与条例改正の確認をさせていただきたい。マイナスの影響がある組合員に対して、モチベーション維持についてご説明をしていただきたい。

**県**：先日、マイナスの影響がある方の具体的な生の声をお聞きした。思いは受け止める。金額の問題

ではないということも理解するが、4月1日以降の給与にかかわる大きな制度改革なのでご理解をいただきたい。

士気の低下も大きな問題である。要求書をいただいているので、一つ一つ誠実にスピード感を持ってやっていきたい。通勤手当についてもお話をさせていただいているが、2月議会提案ということを考えると1月中くらいには合意が必要であり、そういう共通の認識で取り組んでいきたい。職位についても、できるだけ早くということで、今月中にもどのような方法にするのかも含めて職場要求の返し、他県との比較もどうやっていくのかということも協議させていただきたい。11月議会が始まるので交渉ができるかどうかということがあるが、事務的な折衝は進めていきたい。スピード感を持って真摯に取り組んでいきたいと考えており、ご理解をいただきたい。

**組合**：教育職については、年齢の高い方はほぼマイナスの影響が出るという結果である中で、教員の多忙感解消に取り組むということであるが現場がなかなか動かない、現場が動く取り組みをして欲しい。職場環境衛生についても、県立の方は動きつつあるが義務関係は動かない。何とか市町村の方も動く手立てを考えて欲しい。

**県**：(教育委員会)義務教関係は、前回の連絡協議会では市町村と意見交換も行った。現場が動く取り組みということで、早い時期に私たちの動きを示していきたい。

**組合**：市町村からデータを吸い上げて、それを分析し意見を返すような取り組みもして欲しい。

**組合**：勧告以外のことであるが、三者協議を給与水準の維持以上に向上に向けて進めていきたい。

**県**：昨年進めようということであったが、1回で中断している。三者それぞれの事情もあったかもしれないが、国の動きがどうかということもあった。国では、来年に向けて大きな見直しということも出ており、それに引っ張られるかもしれないが議論を進めていきたい。

**組合**：通勤手当についてであるが、パイの中での話ではなく改善ということでよろしいですね。それぞれが改善となるということで進めていただきたい。

その他の課題についても早急に進めていくということで良いか。

**県**：良い。

**組合**：ひととおりの確認をさせていただいた。中断させていただいて協議させてもらいたい。

～ 中断 ～

**組合**：合同交渉を積み重ねてきたが、交渉で確認したことは誠実に実行していただきたいが、成果が伴うということでよろしいですね。

**県**：はい。

**組合**：ということで、合意ということにさせていただきたい。

**県**：今回も、賃金が下がる方がいらっしゃること、また、時間が無い中で合意をいただいたことを感謝する。

どういう結果、成果になるかは、真摯に協議をさせていただいた結果になるが、働いていて良かったなと思っていただけるようにしたい。当局ですので、県民の理解を得ながらということはあるが、スピード感を持って進めていきたい。

今回はありがとうございました。